

シリーズ干支

瓢箪

から

駒



— ひょうたんからこま —

意外なところから意外な物が出ること。思いがけない発見や出会いがあるかもしれないことから開運招福を意味する。
(※こまの「駒」は馬のこと)

▲馬形はにわ (御明田古墳群 1号墳出土) 野洲市教育委員会蔵

▲瓢箪から駒図九谷焼鉢 個人蔵 (長浜)

開催期間 平成25年

平成26年

12月16日(月) ~

1月26日(日)

開館時間 9時~17時 (入館は16時30分まで)

休館日 年末年始 (12月29日~1月3日)

入館料 大人600円、小中学生300円 (団体20名様以上2割引)

*長浜市・米原市の小中学生は無料

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

シリーズ干支 瓢箪から駒

—ひょうたんからこま—

恒例となった曳山博物館のシリーズ干支展、平成26年の干支は午。午とは干支（十二支）の七番目で方角は「南」、陰暦5月の異称です。これに馬を組み合わせたのは庶民に十二支を普及させるためでしたが、日本人と馬は古代から深い結びつきがありました。

本展示では滋賀県内の古墳から出土した馬形はにわ、豪華な鐘形鏡板轡（くつわ）を始め、長浜市十里遺跡の日本最大級の絵馬を見ていただきます。また湖北ゆかりの武将たちが使った馬印や、長浜曳山祭子ども狂言で演じられた「馬方三吉」を写真パネルで紹介します。馬にまつわることわざも集めてみました。

本展示を通して私たちと馬の身近なそして深い関わり合いについて認識戴ければ幸いです。

▲【背景】瓢箪から駒図九谷焼鉢（部分）個人蔵（長浜）



▲馬形はにわ復元模型（川田遺跡出土）守山市教育委員会



馬が描かれている絵馬は平安時代のもの

▲絵馬（十里遺跡出土）長浜市教育委員会

【展示資料】

馬形はにわ（御明田古墳群1号墳出土）	一体	野洲市教育委員会
馬形はにわ復元模型（川田遺跡出土）	一体	守山市教育委員会
金銅製馬具（田中遺跡36号墳出土）	六点	高島市教育委員会
絵馬（十里遺跡出土）平安時代	一枚	長浜市教育委員会
瓢箪から駒図九谷焼鉢 江戸時代後期	二口	個人蔵（長浜）
絹本墨画彩色瀑布唐人馬上図 江戸時代後期	一幅	個人蔵（長浜）
張子五月人形駒 大正13年	一体	個人蔵（長浜）
瓢箪型飾り金具 現代	一点	個人蔵（長浜）



▲金銅製馬具（田中遺跡36号墳出土）高島市教育委員会

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

TEL0749-65-3300 FAX0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料 （※障がい者手帳の提示で本人と介護者1名）
団体 （20名様以上）	480円	240円	

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時（入館は16時30分まで）

■ 休館日：年末年始（12月29日～1月3日）



（交通案内）JR長浜駅から徒歩6分
長浜ICより車で10分